

2017年
12月10日

No.229

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24

さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-545-5154

さざなみネット第9回定期大会 物言う労働組合の存在には社会的意義がある

さざなみネットは、11月10日大津市内において第9回定期大会を開きました。

浦谷分会長のあいさつに続いて、金融労連の中島委員長（滋賀銀行従業員組合委員長）から次のようにあいさつを受けました。

選挙の結果は残念だったが、税制・福祉など政治を変えない限り良くなる。市民と野党の共同で変えていきたい。商工中金の不正融資問題が大きく報じられた。商工中金では業績目標は「割当」と呼ばれ、融資拡大が目的化し、ノルマ達成を強く求め続けられた。元職員は「業績評価は支店の成績に加え個人の出世や賞与にも響く」。検査した金融庁の幹部は「ノルマが未達の職員に本部の人間がパワハラまがいの罵詈雑言を浴びせかけて追い込んでいた」と指摘する。物言う労働組合の存在が大事で、それには社会的意義がある。

人事制度が改定された。今は痛みを感じないので、職場の仲間には余り関心がないが、来年から目標や人事評価など不満が出てくるだろう。これからはぶれない考え方で、ともにがんばろう。

憲法9条は 今最大の危機 憲法を生かす全国統一署名にご協力を



ポインセチア 岩波 美智子さん 画

(議題)・前大会以降の活動について

組合員と機関紙・交流会・電話やメールなどでつながり、ともに成長してきた。

毎月分会会議を開催し、情勢や職場の状況について論議し、機関紙を毎月発行した。近畿地協・金融ユニオン・友好組合や民主団体の会議や集会などに参加し学習した。

・これからの運動について

上部団体などの運動方針に基づき、また金融政策や労働政策などを学習し、活動する。

・前年度決算・会計監査報告・予算(案)(省略)

・役員について

分会長 浦谷貞子、書記長 山崎幸雄、他省略
討論では職場の状況や人間らしい働き方、組合の役割などについて意見を交わし、全議案とも提案通り採択されました。

大会後、交流会を開き職場の状況や思いなどを出し合い、懇親を深めました。



安倍首相は、2017年5月3日、突然、「2020年を新しい憲法施行の年にしたい」と表明しました。これを受けて、改憲への動きが急速に強まり、憲法9条は、いま戦後最大の危機を迎えています。日本がふたたび「戦争する国」になるのはゴメンです。

「安倍9条改憲」反対の一点で手をつなぎましょう。3000万人の「戦争はイヤだ」の声を集めて、9条を未来につないでいきましょう。

2017年「憲法70年」をいよいよ「日本国憲法5・3集会」5万5000人参加(東京・有明体育会館)

「戦争する国」づくりの総仕上げ 9条改憲ねらう安倍内閣

安倍内閣は、つぎつと憲法違反の憲法を強行して、「戦争する国」づくりをすすめてきました。その総仕上げが9条改憲です。海外でアメリカと一緒に北行使使できるように、「憲法9条破壊」をねらっています。

2013年 12月	特定秘密保護法成立を強行
2014年 7月	集団的自衛権の行使容認を閣内決定
2015年 9月	「戦争法」成立を強行
2017年 6月	「防衛費増額」法成立を強行

国民からも世界からも評価される日本国憲法

「89%の人が、憲法が果たしてきた役割を「評価」している」(読売新聞2017年3-4月調査)など、どの世論調査でも、憲法は国民から支持されています。アメリカの法学者は、「188か国中、日本国憲法の人権保障は、トップクラス」と証明しています。憲法を変える必要はありません。憲法を生かすことを求められています。

国民の89%が憲法を評価している

戦争もテロもない「9条」を生かした外交でこそ世界は...

北朝鮮問題で何より大切なのは「戦争を起こさせない」ことです。軍事力による対応では、緊張を高めるだけです。対話こそ、解決の道です。9条をもつ日本だからこそ、対話と呼びかける先陣に立つことができます。また、テロも、武力・軍事力では根絶できません。意見や宗教の違いを超えて話し合いをすすめる以外に解決の道はありません。9条を生かした外交こそ求められています。

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4
TEL (03) 5842-5511 FAX (03) 5842-6620
http://www.zenroren.jp

憲法9条改憲NO!

憲法が生かされる政治を

安倍9条改憲NO!
全国市民アクション

発起人
有馬頼宣(聖光学院中退教授)
内田雅(神戸女学院大学名誉教授)
橋本聖子(作家)
菅原伸子(作家)
藤田麻衣(モデル)
藤田真(議員)
藤田真(議員)
足尾美(ジャーナリスト)
澤田文子(作家)
杉原泰典(一橋大学名誉教授)
藤内由紀子(小説家)
伊藤千恵子(読売大学名誉教授)
田原謙一(ジャーナリスト)
藤原あすか(埼玉大学名誉教授)
なかにし礼(作家・中退教授)
大塚子(読売大学名誉教授)
藤二雄一(東北大学名誉教授)
藤川敏夫(京都大学名誉教授)
藤村操(作家)

(18A)

近畿地協第1回常任幹事会

『働き方改革』など労働法制を学習し職場改善を

11月25日、近畿地協第1回常任幹事会が大阪国労会館で開かれ、近畿各地から10人が、さざなみネットから山崎書記長が参加しました。

岡野議長の挨拶に続いて、「『働き方改革』などの労働法制にどう向き合うか」と題して、金融労連春闘学習会の講演を材料にして、「ミニ学習会」が行なわれました。

- ・労働基準法における労働時間規制（第32条1、2項）、1週間40時間・1日8時間を超えて働かせることの意味を理解する。
- ・今年1月に発表された「労働時間の適正な把握のため使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」で労働時間が明確に定義付けられた。活用して職場を改善していくことが重要だ。
- ・「働き方改革」の名で月の残業時間を100時間まで認め、残業代ゼロ、定額働かせ放題を可能にする法案がもくろまれている。
- ・経営側は勉強・研究し、都合のいい方向に持っていくために政府に働きかけを強めている。労働者側も学習し対抗していく必要がある。

中央委員会や事務局報告の後、単組・支部・分会から取組日程や要求回答状況・職場の状況などを報告等しました。一部ですが掲載します。

- ・「エリア制」で女性4人の店舗ができ、防犯上の問題について申し入れをしている。
- ・インフルエンザ予防接種費用の補助が、行員や短時間パート・派遣職員まで出るようになり喜んでもらっている。
- ・「有期雇用者」の無期転換ルールについて、転換申込権発生に伴う対応について申し入れをした。各単組の情報を交換し、よりよい制度にしていきたい。
- ・3大メガの3万人リストラ、地銀の合併を推進する動きが発表された。情報を集め学習して対策を立てる必要がある。
- ・積立年次休暇制度が、社員にはあるが、契約社員にはない。平等になるよう要求している。春闘準備、「職場と生活アンケート」の推進などを協議、近畿地協春闘学習会を次の通り行うことを決めました。

2月10日（土）

～11日（日）

京都市

・石長松菊園

多くの仲間を集

めよう。



石長松菊園

地域・職場・青年革新懇全国交流会in愛知

『市民と野党の共闘』で改憲の動きを本格的に打破しよう

愛知県刈谷市で11月18日、全国革新懇の「地域・職場・青年革新懇全国交流会 in 愛知」が始まりました。2日間の日程で開かれ、初日の全体会は全国47都道府県から1568人が参加し会場はいっぱいに、さざなみネットの山崎書記長が地域革新懇から参加しました。

首都圏反原発連合や市民連合、総がかり行動実行委員会の市民代表の連帯あいさつ、日本共産党の志位和夫委員長（代表世話人）らの特別発言に続き、全国の草の根からの発言が行われ、総選挙結果をふまえ「市民と野党の共闘」の新たな発展をめざし、安倍政権打倒、安倍9条改憲阻止へかかってない共同を広げようと熱気にあふれました。

安倍政権の大きな戦略の狙いを、「市民と野党の共闘」がさしあたり阻止しました。改憲の動きを本格的に打破するため、3000万署名を進め、国会発議を許さない歴史的大闘争を巻き起こしましょう。



開会あいさつをする

池田香代子全国革新懇代表世話人



11月22日、栗東芸術会館さざらにおいて、劇映画「母」小林多喜二の母の物語」の上映会があり、さざなみネットから2人が鑑賞しました。感想を掲載します。

小林多喜二の母・セキさんの物語です。貧しさゆえ、無学であったが広い心を持ち、子供たちを育て多喜二にとって最大の母であったと思います。セキはタコ部屋から逃げ出してきた労働者を、命がけで逃がして売りもののパンまで持たせるところなどすごい母親だと思います。大変な高給で、一生淫楽に暮らせる程であった銀行を辞めて、貧しい人の味方となり治安維持法により虐殺された息子を、最後まで信じ帰りを待ち侘びる姿、母の強さ優しさがあふれていてたまらなくなりました。二度とこの悲劇は繰り返してはならないと思います。

(浦谷)

ひこひこ